

# ①. 直線キープ・可変施肥田植機による労働力削減効果及び生育均一化の実証

## ～GPSを活用したICT技術による、簡単操作と高精度作業の効果の実証～

### (1) 主なスマート技術

#### ○直進キープ機能（直進時自動操舵機能）（GS仕様）

- ・直進時の自動操舵技術により、田植機操作が不慣れなオペレータでも簡単に真っ直ぐに田植えが可能。また、熟練者においても労力が軽減されることで作業効率の向上が図れる。

#### ○条間アシスト機能（GS仕様）

- ・直進キープ開始時に隣接条間の「ズレ」を知らせてアシストするので、「直進キープ機能」がより使いやすくなる。

#### ○株間キープ機能

- ・進む距離を把握し、植付爪の回転速度を制御しながら植付けするので、ほ場条件が分からない“初めてのほ場”でも、狙ったとおりの株間で植付けできる。また、ほ場ごとの苗使用量を高精度に管理できるので、苗の準備にかかる時間や費用を節約でき、コスト低減が図れる。

#### ○施肥量キープ機能（F仕様）

- ・進む距離を把握し、施肥ロールの回転速度を制御しながら肥料繰出しするので、ほ場条件が分からない初めてのほ場でも、狙ったとおりの施肥量で埋設できる。また、ほ場ごとの施肥量を高精度に管理できるので、肥料の準備にかかる時間や費用を節約でき、コスト低減が図れる。

#### ○可変施肥（参考）※（2020年度実証予定）

- ・食味・収量センサ付コンバインから得たタンパク値・水分・収量データに基づき、可変施肥機能を実装した田植機により、ほ場毎の生育の均一化を図る。

### (2) 期待される効果

- 労働時間の低減とともに、乗り手を問わず移植精度が安定して確保される。
- 前年の刈取り時のデータを基に作成した施肥計画により、ほ場ごとの適正な施肥が移植作業時に実施されることによる生育の均一化（2020年度実証）

### 【直進キープ走行の操作】

